

# 14 東京医科大学茨城医療センター

## 病院の概要

開設	1948年
開設者	学校法人 東京医科大学
院長名	小林 正貴
病床数	501床(許可病床)、398床(稼働病床数)
標榜科 (26科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、代謝内分分泌内科、腎臓内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科
医師数	123名
指導医数	69名
研修医数	9名
研修医の主な出身大学	東京医科大学 他
外来患者数	860.9名/日
入院患者数	357.7名/日

## 募集要項

応募資格	原則として第115回医師国家試験を受験する者、あるいは医師国家試験に合格し、新たに臨床研修を行う者
採用人数	8名(未定)
試験日程	2020年8月22日(土) 予定
選考方法	筆記試験(医学、一般常識)、面接
処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身分：常勤医師</li> <li>■給与：1、2年次共 約40万円(当直代込み) 別途超過勤務手当支給あり</li> <li>■社会保険：東京医科大学健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険</li> <li>■宿舎：有り(単身用・世帯用)</li> </ul>

## 病院見学対応状況

- 見学時間…随時(平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…研修医宿舎に宿泊可能(無料・要確認)
- 問い合わせ先  
担当者：卒後臨床研修センター 事務局  
TEL：029-877-1161(代表)  
E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp



## 応募・問合せ先

### 東京医科大学茨城医療センター

〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1  
 担当者：卒後臨床研修センター 事務局  
 TEL：029-887-1161(代表)  
 FAX：029-887-1355  
 E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp  
 URL：http://ksm.tokyo-med.ac.jp/sotsugo/



■電車をご利用の場合  
 JR常磐線 土浦駅よりバス 15分  
 JR常磐線 荒川沖駅よりバス 15分

■車(常磐自動車道)をご利用の場合  
 桜土浦インターより6km

## 女性医師支援

グランドカンファレンス・症例検討会の参加率基準の免除  
 院内保育所(ひまわり)の完備  
 メンター制度と卒後臨床研修センターの充実したサポート体制初期研修中に出産育児を行った研修医2名実績あり

## 研修プログラムの特色

※R3年度プログラムについては、現在、検討中です。プログラムが確定次第、当センターホームページに掲載いたします。

- 1.少数精鋭のプログラム**  
研修医の募集定員は、1学年8名(2学年で16名)です。当センターの病床数、指導医数から考えると少ないかもしれませんが、しかしこの定員だからこそ、温かい雰囲気の中できめ細やかな専任指導が可能で、十分な症例数の下、スーパーローテーション方式で主要科を研修します。また2年間の研修期間を通じER当直を行い、実践的プライマリ・ケアの修得が可能です。
- 2.基本的初期診療の修得**  
十分な症例数の下、スーパーローテーション方式で主要科を研修します。また2年間の研修期間を通じER当直を行い、実践的プライマリ・ケアの修得が可能です。
- 3.一人ひとりのキャリア形成に則した研修**  
2年次には幅広い選択肢を用意しており、キャリア形成を意識したローテーションを選択できます。
- 4.屋根瓦式教育体制**  
豊富な指導医の下、後期研修医が初期研修医を、初期研修医2年次が1年次を、初期研修医が1年間を通して実習している医学生に指導する屋根瓦式教育体制を実施しています。「教えることは、学ぶこと」を日頃から実践して、臨床能力を高めることが可能です。
- 5.充実したサポート体制**  
生き生きとした研修生活を送れるよう、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップします。研修医一人ひとりにメンターが付き、相談役として研修生活とキャリア形成をサポートします。

## 研修スケジュール例

【基本】ローテーションイメージ  
 例)内科6か月 外科・小児科・産婦人科を1年次に研修する場合

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急			小児科	産婦人科	外科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神科	地域医療	必修						選択			

※原則として、当初の1年の後に地域医療を研修すること。  
 ※原則として、内科においては24週以上、救急部門においては12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科及び地域医療においてはそれぞれ4週以上の研修を行うこと。

内科：呼吸器、消化器、循環器、腎臓、代謝内分分泌、感染症、脳神経  
 外科：呼吸器、消化器、整形外科、脳神経、乳腺、泌尿器  
 救急：当院、筑波メディカルセンター病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター  
 小児科：当院、東京医科大学病院、土浦協同病院、日立総合病院  
 産婦人科：当院、筑波大学附属病院、日立総合病院  
 精神科：宮本病院  
 地域医療：北茨城市民病院、いわき内科クリニック、あだち内科クリニック、土浦ベルクリニック、阿見第一クリニック  
 選択科目：当院、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、茨城県立中央病院、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、ひたちなか総合病院、筑波記念病院(以上7施設は全科)、茨城県立医療大学付属病院、土浦協同病院、宮本病院、牛久愛和病院、等  
 1年次は茨城県立中央病院にてたすきかけ研修が可能

## 専門研修の募集について

※詳細は当センターホームページをご覧ください

募集診療科	選考方法	連携施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆基幹施設</li> <li>・内科専門医プログラム 定員5名(予定)</li> <li>・皮膚科研修プログラム 定員2名(予定)</li> <li>・麻酔科専門医研修プログラム 定員2名(予定)</li> </ul>	書類選考 面接	16の基本領域についても、連携施設として専攻医の受け入れを行います。 内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、病理、救急科、形成外科、皮膚科、整形外科、小児科、放射線科、精神科、眼科、脳神経外科、麻酔科

## 研修・認定施設一覧

- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本睡眠学会認定施設
- 日本気管食道科学会研修施設
- 呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設  
(日本呼吸器外科学会/日本胸外科学会)
- 日本産婦人科学会専攻医指導施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定研修施設
- 日本眼科学会研修施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
- 日本腎臓学会認定施設/研修認定施設
- 日本透析学会認定施設
- 日本感染症学会研修施設
- 感染症の予防の疑似症に係る医療機関承諾施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本救急医学会専門医指定施設
- 日本腹部救急医学会救急認定医/教育医制度認定施設
- 認定臨床微生物検査技師制度協議会研修施設
- 日本消化器外科学会専門医研修施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本がん治療学会認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本胆道学会指導施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージヤリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージヤリー学会インプラント実施施設
- マンモグラフィ検診精密管理中央委員会認定施設
- 日本精神神経学会認定施設
- 日本老年精神医学会認定施設
- 日本認知症学会教育施設
- 日本神経学会教育施設
- 日本脳神経外科学会認定施設
- 日本脳卒中学会認定施設/認定研修教育病院
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- 日本プライマリケア学会研修認定施設
- 日本内科学会認定施設/認定医制度教育病院
- 日本糖尿病学会教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本麻酔学会認定施設・指導病院
- 日本急性血液浄化学会認定施設
- 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- 日本手外科学会研修施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 日本皮膚科学会専門医研修施設
- 日本小児口腔外科学会研修施設
- 日本口腔外科学会認定関連研修施設
- 日本医学放射線学会専門医研修施設
- 日本アフレシ学会認定施設
- 認定輸血検査技師制度指定認定施設

## 病院からメッセージ



**研修責任者**  
**屋良 昭一郎** 卒後臨床研修センター長

東京医科大学茨城医療センターは病院全体で研修医の教育に取り組めます。当院は2次救急医療機関であるため、多発外傷や重症熱傷などの症例は少ないですが、common diseasesの臨床経験を積み上げるには最良の環境です。2年間を通して救急外来の診療があり、病歴聴取、身体診察をはじめ、各種検査を自らの判断で遂行することによって骨太の臨床力が身に付きます。またそれらをサポートする先輩研修医と指導医の熱意、看護師、コメディカルの協力体制は当院が誇るものです。2年という短い時間に集中して力を付けることのできる当院の研修は自信をもって勧められるものです。ぜひ一度見学にいらしてください。



**研修医**  
**福田 真也**

当院の研修内容の魅力として挙げられるのは、大学病院でありながら市中病院並みの症例数の多さにあります。その結果、初期研修医でも、様々な手技や、より実践的な治療を行うことが可能であり、医師としての基礎力、対応力の増加を肌身で感じることが出来ます。また、当直の翌日は基本的に休暇をもらえるため全力で夜間対応に集中することが出来ます。研修医は大学病院としては少人数ではありますが、だからこそ研修医一人ひとりに対しての細やかなバックアップが行われています。研修医の要望を加味した勉強会が定期的にかかれており、体系的な知識や考え方を身に付ける身につけることができ、間違いなく成長できる病院です。他にも様々な点での魅力があるので、是非一度見学にお越しください。